

レジオネラ属菌の検査はお済みですか？



レジオネラ属菌とは

レジオネラ属菌は環境細菌で、土壌、河川、湖沼などの自然界に広く生息しています。温泉施設や加湿器などの人工の施設や設備の中で増殖すると、人への健康被害が懸念されます。

レジオネラ症とは

特に高齢者や幼児などの抵抗力の弱い人が感染しやすく、感染すると一過性の発熱や肺炎を起こすレジオネラ症を発症し、重症化すると死に至るケースもあります。

レジオネラ属菌の検査はどうやるの

当センターでは、レジオネラ属菌の検査を行っています。通常の検査法では検査結果が出るまでに1週間かかりますが、迅速検査法の導入により、**早ければ2日ほど**での結果報告が可能となりました。

レジオネラ属菌を増やさないよう、日頃から施設や設備の衛生管理に努めるとともに、定期的な検査をお勧めします。



【お問合せ先】

一般財団法人宮崎県公衆衛生センター
宮崎市霧島1丁目1番地2

TEL:0985-24-7400 FAX:0985-24-8588

<http://www.miyazaki-wflabo.org>

レジオネラ属菌の検査方法等について

(一財) 宮崎県公衆衛生センター

◎レジオネラ属菌の検査

当センターで採用している試験法はろ過濃縮法（迅速検査法・培養法）です。

◎浴槽水の各項目の基準値は次のとおりです。

【 水質基準項目 】	【 原水・原湯 】	【 浴槽水 】
色度	5 度以下	
濁度	2 度以下	5 度以下
水素イオン濃度	pH 値 5.8~8.6	
過マンガン酸カリウム消費量	10mg/L 以下	25mg/以下
大腸菌群	検出しない/50mL	1 個/mL 以下
レジオネラ属菌	10CFU/100mL 未満	10CFU/100mL 未満

◎基準に適合していない項目のある場合

*** 最寄りの保健所に相談し、適切な措置を講じてください。**

◎その他

浴槽水の消毒に塩素系薬剤を用いる場合は、浴槽水中の残留塩素濃度を定期的に測定し、その値が 0.2~0.4mg/L を保つようにしましょう。